

とうもろこし売り切れ御免！

あさげ開け新聞

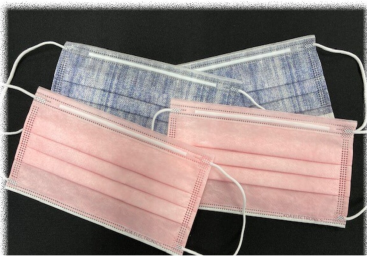
地域共生推進室 発行
【10号】
2021年8月6日発行

ご意見・質問は下記の
メールまでどんどんお
寄せ下さい。採用され
た方には旬の野菜を
プレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com



道の駅「信州新野千石平 蔵」とうもろこし直売所風景

1. 稲作事業
【白毛餅／コシヒカリ栽培】
・スマート農業実験開始
・土手草刈り
・八反ドリーにて水草除草
・コシヒカリ追肥
2. 薬草事業
【センブリ栽培】
・長野県製薬小谷氏現場指導
・排水整備
・スギナの除草
・葉枯れ部の土壤除去
3. 園芸事業
【ほおずき栽培】
・色づけ処理
【とうもろこし栽培】
・とうもろこし収穫
・道の駅『蔵』へ出荷



近日発売予定！

4. 野菜栽培
【野菜栽培】
・キュウリ、ナス、トマト
・ピーマン、ジャガイモの収穫
・各工場おせんしょ市場へ提供
5. マスク事業
・福縄大口受注生産
・竹細工研修



自分達で基地局設置する様子

自動給水ゲート！



これらのセンサーの信号をスマホで受信制御する為に基地局を設置しました。

次に水田に自動給水する為の自動給水ゲートを設置しました。



水位センサー

稲作事業 「コシヒカリ栽培」

農業のスマート化に向け、あさげファームでは水田の水管理の自動化に取り組んでいます。まず、水位と水温を管理するために水位センサーと温度センサーを設置しました。

水位センサー 給水ゲートの動画です



二つのシステムにより、水位が設定値以下になると自動的に水が供給され、満水になると自動停止します。

この基地局は半径3キロまで受信出来、新野地区全体をカバーします。更なる拡大にチャレンジし管理工数を削減します。

薬草事業 「センブリ栽培」

順調に成長してきたセンブリに葉枯れが発生しました。佐久支場の油井氏に相談した



葉枯れしたセンブリ

所、「環境が高湿多湿の場合病原菌が発生する可能性がある。葉枯れ部分は土壌も含め取り除いた方が良い」とのアドバイスを頂き実施致しました。センブリ畑は、雨水が畝に浸からない状態にする事が必要であること分かったため、排水溝を更に深くする工事を行いました。



悪い部分の除去作業

園芸事業 「ほおずき栽培」

お盆の時期も近づきほおずきの出荷に向けて、実に直接薬を散布し色づけするエステル処理をしました。



一個一個丁寧に

葉が生い茂っており、一個一個散布漏れに注意しながら作業しました。



色付け後

「とうもろこし栽培」

道の駅「蔵」向けのとうもろこしの朝取りがスタートしました。収穫はひげが茶色に枯れ、先端に実が入り十分に膨らんでいるものを手と目で一つ一つ確認しながらもぎ取ります。



直ぐにかごいっぱい！

収穫後、虫食いや外観を選別し、重量別にLL、L、M、S、規格外の5段階に分け納品します。

左の表は、7月末時点での出荷数量になります。まだまだ収穫は続きます。

甘太郎	重量	7月30日時点
LLサイズ	450g以上	74本
Lサイズ	400g以上	152本
Mサイズ	350g以上	121本
Sサイズ	320g以上	55本
規格外	320g以下	25本
虫食い		50本

「野菜栽培」

夏野菜の収穫が最盛期を迎えるだけ多くの社員の方にご利用頂けるように各工場のおせんしょ市場へお届けしています。左の表は、7月末時点のおせんしょ市場へ野菜を提供した累計数量になります。

おせんしょ市場提供数量の累計	
キュウリ	1,348本
千両ナス	131本
丸ナス	100個
米ナス	6個
ミニトマト	601個
ピーマン	620個

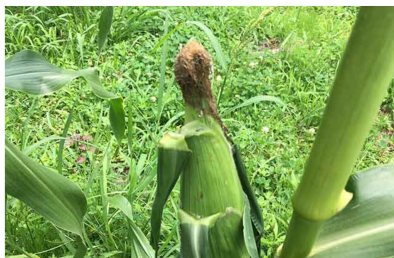


暑い中の収穫

「とうもろこし」

『とうもろこしの収穫』とうもろこしのヒゲ1本1本は、実の一つ一つに繋がっています。熟すと茶色に色付きま

開花から20～25日、ヒゲが茶色に縮れてきたら収穫適期です。目安としては、手で押すと中身の手応えを感じる、または、外皮を少しむいて上部の実の膨らみを見て確認します。



ひげが茶色になり収穫時期のサイン

収穫は、実の付け根を切る、または、下に倒してねじって折り取ります。

収穫期を過ぎると実が固くなってしまう。また、収穫後も数時間で甘みが落ちるので、すぐに食べない時は茹でて冷凍しておくのがオススメ。

『茎付き収穫で糖度保持』とうもろこしを茎付きで収穫すると、朝収穫して夕方まで糖度を保持することができます。



こんなのも採れます



鯛の形に見立てた福縄「めでたい」



呼吸を揃えて『おりゃー！』

薬細工事業

南信州米俵保存会様より福縄のご注文を千個受注しました。1本の福縄を作るには、3本の太縄を編みながらあんこを包み込む為、二人一組で製作します。

あんこがはみ出さないように二人が呼吸を揃えて編み込むのがとても大切な作業となります。

「ねこちゅら」

先月猫ちゅらをお買い上げ頂いたサンリ工芸長の下島様より、ねこちゅらに入り気持ちよきそうに寝ている愛猫の写真を送って頂きました。



ここは私の新しい居場所だにゃん